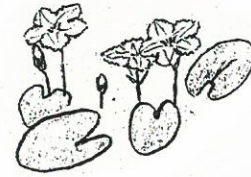
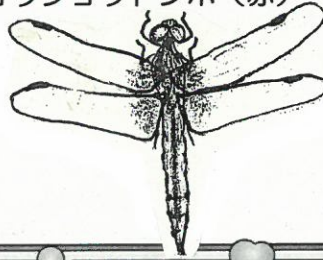


\*コシアキトンボ



\*ショウジョウトンボ (赤)



\*アサザ

花の色：きいろ

\*ヒルガオ

花の色：うすいピンク



\*ドクダミ

花の色：白

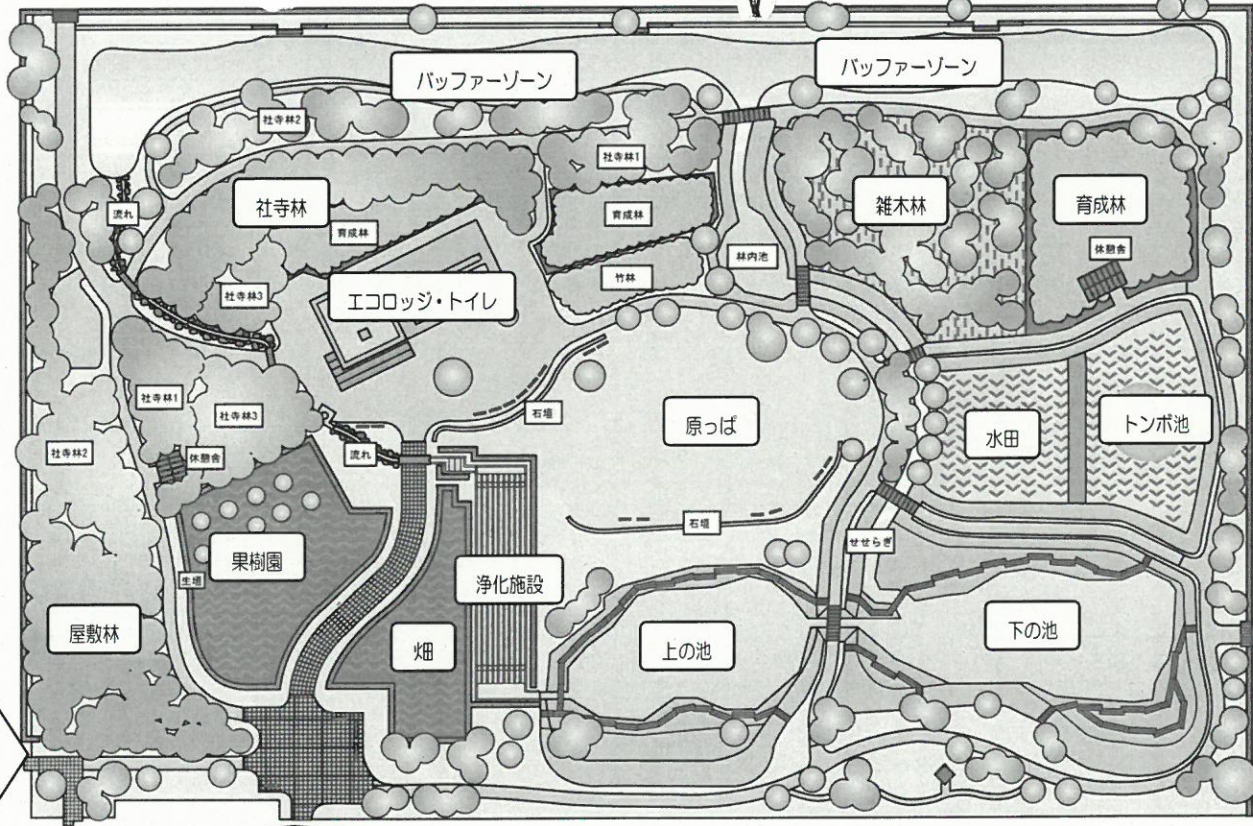


ハクセキレイ



\*スイカズラ

花の色：しろ、うすい黄色



\*コモチ マンネングサ

花の色：黄色

てんぼうしつ 展望室

\* 印は、裏に説明があります。

よ 読んで参考にしてみて下さい。



\*クチナシ

花の色：白



### スイカズラ

スイカズラは、枝先に甘い香りの花を2つずつ付けます。「スイカズラ」という名前は、子供たちが花の奥にある蜜をよく吸ったことから付いたと言われます。

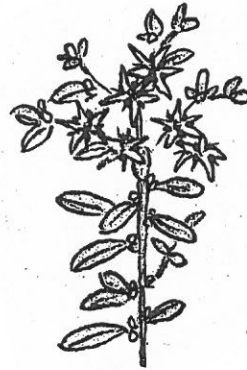
この花は、開花した直後は白色ですが、やがて黄色になります。黄色と銀色の花が混じって咲くように見えることから「金銀花」という呼び名もあります。



### コモチマンネングサ

園内の道ばたや、木道の脇で鮮やかな黄色の小さな花が咲いています。これが、コモチマンネングサです。乾燥に適応した多肉質の葉を持っています。

この花には種ができません。バラのつぼみのように集まった小さな2、3対の葉をもった珠芽が、花の季節にが終わると地面に落ちて、新しい株になります。



### ドクダミ

ドクダミの名称は「毒矯み」（毒を抑える）から来ている。「十薬」とも呼ばれ、様々な薬効があり、民間薬としても利用されています。白い4枚の花びらのようなものは、実は花を包む葉で、総ほう片といいます。花の中央の黄色い軸の部分で小さい花が集まって軸に見えます。

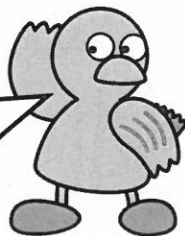


### ヒルガオとコヒルガオ

花が昼間に咲くので「ヒルガオ」といいます。ヒルガオに比べて葉や、花が小さいものを「コヒルガオ」といいます。ヒルガオとコヒルガオの葉をよく観察してみてください。どちらの葉もキツネの耳のように横に張り出していますが、この張り出した部分が2つに分かれるものが多い方が、コヒルガオです。



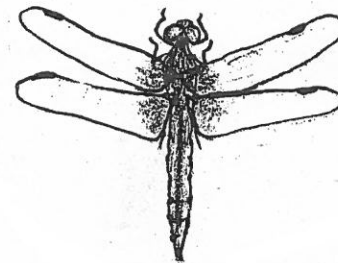
あなたが見つけたのはヒルガオでしたか？  
コヒルガオでしたか？



コバトン

### ショウジョウトンボとコシアキトンボ

ショウジョウトンボは、胸の腹の鮮やかな赤色が特徴です。羽の付け根も赤みをおびています。特にオスが鮮やかな赤色をしています。コシアキトンボは、腹の一部に色がついていて、腹巻きをしているかのように見えます。腹巻きのような部分の色は、オスが白く、メスが黄色です。



ショウジョウトンボ



コシアキトンボ